



8月の園だより

平成 23 年 8 月 1 日

暑中お見舞い申し上げます。

子どもたちが待ちにまった水遊びが始まりました。お日さまの下で元気な歓声に水しぶきがキラキラと輝いています。水遊びは、心を開放的にする楽しい遊びのようです。

夏場は予想以上に体力を消耗します。園では、適切な水分補給や休息を心がけています。ご家庭でも、十分な栄養とたっぷりの睡眠がとれるようご配慮いただき、子ども達が生き生きと夏の生活を楽しめるようにしたいですね。

お願い

8月は、海や山に出掛けることも多いかと思えます。水の近くでは、以下のことにお気をつけ下さい。

- ・水辺でひとり遊びをしない、させない。
- ・水辺で遊ぶ際は、保護者の監視のもとで。
- ・波の高い岩場や、流れが急な所は近寄らない。

又、ショッピングモールなどにお出かけの際は、たとえ短時間でも、車内にお子さんをおいていかないようにして下さい。事故・けがには十分注意して楽しく過ごしてください。

SAKURA'S COLUMN

「子どもは私たちすべての未来である。子どもがどのように生きるかが、私たちの未来を決める」

スウェーデン・カールソン元首相の言葉より

熊本で開かれたシンポジウムでコーディネーターの潮谷義子氏が締めくくられた言葉です。シンポジウムのテーマは「制度改革と保育所の未来」。報道等でご存知かと思いますが、国が打ち出した「子ども・子育て新システム」によって、保育所の存続が揺るがされています。保育とは養護と教育を一体的に行うことで、保育所保育は親の代わりに子守をすることではありません。子どもは、たとえ生まれたばかりの赤ちゃんでも、社会と関わりを持って育ちます。核家族の多い現代では、乳児から大人まで様々な異年齢で過ごす保育所保育は重要で、その質の向上を図る必要があります。しかし、「子ども・子育て新システム」の行政説明を聞けば聞くほど、経済活性化、保育の市場化、コストダウンと質の低下しか見えてきません。そして、何より恐ろしいのが、保護者と保育所との直接契約によって、国の保育責任が失われ、保護者の自己責任になることです。私たちの未来である子ども達のため、保育園は福祉の理念のもと、誠実に保育現場を守っていかなければなりません。

ご意見・ご要望に関するご報告

7月は特にありませんでした。尚、当法人では保護者の方のご意見・ご要望を解決するための仕組みを設置しております。別紙及び当園玄関ホール掲示の当法人の「ご意見・ご要望の解決のための仕組みについて」をご参照ください。

【8月の行事予定】

月	火	水	木	金	土
1	2	3 木工教室 異年齢交流事業 (月・雪・学童 小一卒園生)	4	5	6
8	9	10 英会話(月)	11	12	13
15	16	17	18 絵画教室(月)	19 誕生会	20
22	23	24 英会話(月)	25 絵画教室(学童)	26 絵画教室(学童)	27
29	30	31			